

CWSコロキウム(開催日:2019年6月30日、時刻:14時、場所:NPO法人事務所)

講演番号	氏名	タイトル	要 旨	
1	林 陽生	気候変動対策は生活の質を脅かすものか？	世界市民会議の報告書に、ショッキングな結果が示されている。「あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？」の質問に対する回答だ。日本の場合、4択の一つ、「生活の質を脅かすものである」を選択した割合が、他国に比べ突出した高い数値を示した。なぜそのような結果が導かれるのか、他国との違いは何か、などについて意見交換し、地球温暖化に対する認識度について考える。	30分
2	黒田 亘	藤沢市地球温暖化対策地域協議会の概要	市民・事業者・行政が協力して地球温暖化の防止を図る団体「藤沢市地球温暖化対策地域協議会」(2002年設立)について紹介する。(当日資料配布)	30分
3	塚原あずみ	学生時代からつながる環境教育の現場	地球温暖化の影響と聞いて何を思い浮かべるだろうか。学生時代、桜の開花から満開までの期間を1つの生育ステージと捉え、地球温暖化がそのステージに及ぼす影響を評価した。今回のコロキウムでは、簡単に、研究結果の説明をするとともに、研究をするに至った経緯や想い、現在への活動へのつながりについても述べる。さらに、現在のエネルギー環境教育の現場で大切にしていることや、気になることに触れ、自身の視点で環境教育について語る。	30分
4	丸田恵美子	台風24号による藤沢市内の樹木の塩害発生状況	(当日資料配布予定)	30分
5	相原延光	宮沢賢治の心象スケッチにみる災害観-妹トシの死当日の天気ならびに恩師と弟子の生き方の考察-	賢治26歳のとき、最愛の妹トシをなくし、その悲しみと格闘するかのようになり、一気に心象スケッチ「永訣の朝」「松の針」「無声慟哭」の三編の詩を書いている。トシの命日は「永訣の朝」から大正11(1922)年11月27日で「みぞれの降る寒い晩」ということになっている。そこで、当時の天気図や地方気象台の気象要覧の資料をもとに検証する。さらに、当時の東北地方を襲ったやませによる冷害を研究した化学者関豊太郎の弟子としての賢治の生き方について考察する。	30分
6	泉 耕二	シジュウカラ通信	(当日ご期待)	15分